職業実践専門課程等の基本情報について

照本デザイン専門学校 平成5年12月24日 校長 内藤沙 (電話) 096-384-8500 所在地 学校法人未来創造学園 平成22年3月2日 代表者名 中成22年3月2日 現事長 吉山昌利 (世所) 熊末県熊本市中央区大江本町2-5 (産話) 096-384-8500 所在地 平成22年3月2日 現事長 吉山昌利 (世所) 熊末県龍本市中央区大品寺2丁目2-38 (選重者 文化・教養 文化教養専門課程 アンジョンプサイン科フリエイ 平成14(2002)年度 第一 東京 182-0973 (世所) 096-392-8565 国産専門主設定年度 国東 文化・教養 文化教養専門課程 アンジョンプサイン科フリエイ 平成14(2002)年度 第一 東京 第一 色彩検定、ファッションビジネス貼力検定、パターンメーキング技術検定 事態 第一 色彩検定、ファッションビジネス貼力検定、パターンメーキング技術検定 事態 第一 を実験の第1で必要な監修業時数又は総 選素 演習 実職 学等) 修業年限 屋板 全課程の修丁に必要な監修業時数又は総 理会 第一 単位教 ※単位教信、単元の制度、パターンメーキング技術検定 第一 東位教 ※単位教信、単元の制度、パターンメーキング技術検定 第一 東位教 ※単位教信、単元の制度、パターンメーキング技術検定 第一 東位教 ※単位教育 大阪 中心時間 360 単位時間 0.単位時間 0.単位時間による第一 100 96 日からが高速報を促作 100 96 日からが高速率によるが表が限者の割合(E/C) 88 96 国連学者数 0.人国連議事に占める系域集るの割合(E/C) 88 96 国連学者数 0.人国連議事に占める系域集るの割合(E/C) 88 96 国連学者数 0.人国連議事による「東方」が成場による「東方」が表現時による「東方」が表現時による「東方」が表現時による「東方」が表面は関係を制度による「東方」が表面は関係を制度による「東方」が表面は関係を制度による「東方」が表面は関係を制度による「東方」が表面は関係を制度による「東方」が表面は関係を制度による「東方」が表面は関係を制度による「東方」が表面は関係を制度による「東方」が表面は関係を制度による「東方」が表面は関係を制度による「東方」が表面は関係を制度による「東方」が表面は関係を制度による「東方」が表面は関係を制度による「東方」が表面は関係を制度に対しているに対しに対しでは対しているに対しているに対しているに対しているに対しているに	実践専門課程認定年度 平成27(2015)年度 実技 の 単位時間 単位
デャン・ディー・ディー・ディー・ディー・ディー・ディー・ディー・ディー・ディー・ディー	平成27(2015)年度 実技 0 単位時間
交野 一次	平成27(2015)年度 実技 0 単位時間
学科の目的	実技 の 単位時間
学科の特徴 取得 可能な資格、中退 を課程の修了に必要な総授業時数又は総 講義 演習 実際 実験 を集年限 昼夜 全課程の修了に必要な総授業時数又は総 講義 演習 実際 生産 を	間 0 単位時間
本 等	間 0 単位時間
野本牛眼 単位 単位数 調整 現自 大日 大阪 日本 大阪 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日	間 0 単位時間
#位 単位	
50 人 25 人 0 人 0 % 4 % ■ 本業者数 (C) : 8 人 ■ 試職希望者数 (D) : 7 人 ■ 表別職者数 (F) : 7 人 ■ 地元就職者数 (F) : 5 人 ■ 表別職者 (E/D) 100 96 ■ 試職者 (E/D) 71 96 ■ 本業者に占める地元就職者の割合 (E/C) 88 96 ■ 在学者数 0 人 ■ 本学者数 0 人 ■ 本生な就職先、業界等 (令和6年度卒業生) 7パレル経数企業、プライダル関係、制服関係 ■ 民間の評価機関等から第三者評価:	
■ 本業者数 (C) : 8 人	
■ 記職者数 (D) : 7 人 ■ 就職者数 (E) : 7 人 ■ 地元就職者数 (F) 5 人 ■ 記職率 (E/D) 100 96 ■ 就職者に占める地元就職者の割合 (F/E) 71 96 ■ 卒業者に占める就職者の割合 (E/C) 88 96 ■ 進学者数 0 人 ■ その他 「令和 6年度卒業者に関する令和 7 年 5 月 1 日時点の情報) 章 主な就職先、業界等(令和6年度卒業生) アパレル経製企業、ブライダル関係、制服関係 ■ 民間の評価機関等から第三者評価: ※ オの場合、例えば以下について任意記載 評価団体: 受審年月: 評価結果を掲載したホームページ URL 当該学科のホームページ URL (A:単位時間による算定) 総授業時数 1,920 単位8	
■記職者数(F) : 7 人 ■地元就職者数(F) 5 人 ■記職事(E/O) 100 96 ■試職事(E/O) 100 96 ■試職事(E/O) 88 96 ■产業者に占める就職者の割合(E/C) 88 96 ■产で報告 6年度卒業者に関する令和7年5月1日時点の情報) ■主な就職先、業界等(令和年度卒業生) アパレル縫製企業、ブライダル関係、制服関係 ■民間の評価機関等から第三者評価: ※有の場合、例えば以下について任意記載 評価団体: 受審年月: 評価結果を掲載したホームページURL 本人ページ URL 日内による算定) おけりま://www.kumamoto-design.ac.jp 1,920 単位形 1,920	
■ 就職率 (E/D) 100 96 ■ 就職者に占める地元就職者の割合 (F/E) 71 96 ■ 卒業者に占める就職者の割合 (E/C) 88 96 ■ 進学者数 0 人 ■ さの他	
71 96 ■卒業者に占める就職者の割合(E/C) 88 96 ■進学者数 0 人 ■主な就職先、業界等 (令和6年度卒業者に関する令和7年5月1日時点の情報) ■主な就職先、業界等 (令和6年度卒業生) アバレル縫製企業、ブライダル関係、制服関係 ■民間の評価機関等から第三者評価: ※有の場合、例えば以下について任意記載 学校評価 当該学科のホームページ URL (A:単位時間による算定) 総授業時数 1,920単位取	
■卒業者に占める就職者の割合(E/C) 88 96 ■進学者数 0 人	
 就職等の状況 ■進学者数 ○ (令和 6年度卒業者に関する令和7年5月1日時点の情報) ■主な就職先、業界等(令和6年度卒業生)アバレル経製企業、プライダル関係、制服関係 ■民間の評価機関等から第三者評価: 無 ※有の場合、例えば以下について任意記載 評価団体: 受審年月: 評価結果を掲載したホームページ URL 当該学科のホームページ URL (A:単位時間による算定) 総授業時数 1,920単位取 	
(令和 6年度卒業者に関する令和7年5月1日時点の情報) ■主な就職先、業界等 (令和6年度卒業生) アパレル縫製企業、ブライダル関係、制服関係 ■民間の評価機関等から第三者評価: 無 ※有の場合、例えば以下について任意記載 学校評価 当該学科の ホームページ URL (A:単位時間による算定) 総授業時数 1,920単位取	
■主な就職先、業界等 (令和6年度卒業生) アパレル縫製企業、ブライダル関係、制服関係 ■民間の評価機関等から第三者評価: ※有の場合、例えば以下について任意記載 学校評価 当該学科の ホームページ URL (A:単位時間による算定) (A:単位時間による算定)	
■主な就職先、業界等 (令和6年度卒業生) アパレル縫製企業、ブライダル関係、制服関係 ■民間の評価機関等から第三者評価: ※有の場合、例えば以下について任意記載 学校評価 当該学科の ホームページ URL (A:単位時間による算定) (A:単位時間による算定)	_
(令和6年度卒業生) アパレル縫製企業、ブライダル関係、制服関係 ■民間の評価機関等から第三者評価: ※有の場合、例えば以下について任意記載 学校評価 当該学科の ホームページ URL (A:単位時間による算定) 総授業時数 1,920単位即	
アパレル縫製企業、ブライダル関係、制服関係 ■民間の評価機関等から第三者評価: 無 ※有の場合、例えば以下について任意記載 学校評価 当該学科の ホームページ URL (A:単位時間による算定) 総授業時数 1,920単位取	
第三者による 学校評価 常三者による 学校評価 ※有の場合、例えば以下について任意記載 評価団体: 受審年月: 評価結果を掲載した ホームページURL 当該学科の ホームページ URL (A:単位時間による算定) 総授業時数 1,920単位明	
第三者による 学校評価 ※有の場合、例えば以下について任意記載 評価団体: 評価結果を掲載した ホームページURL 当該学科の ホームページ URL https://www.kumamoto-design.ac.jp (A:単位時間による算定) 総授業時数 1,920単位即	
第二名による 学校評価 評価結果を掲載した 当該学科のホームページ https://www.kumamoto-design.ac.jp URL (A:単位時間による算定) 総授業時数 1,920単位	
評価団体: 受審年月: ボームページUR L 当該学科の ホームページ URL (A:単位時間による算定) 総授業時数 1,920 単位时	
ホームページ https://www.kumamoto-design.ac.jp URL (A:単位時間による算定) 総授業時数 1,920単位時	
URL (A:単位時間による算定) 総授業時数 1,920単位限	
総授業時数 1,920 単位即	
総授業時数 1,920 単位即	
うち企業等と連携した実験・実習・実技の授業時数 0単位限	間
	間
うち企業等と連携した演習の授業時数 15 単位8	間
うち必修授業時数 1,920 単位限	間
うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の授業時数 0 単位四	[H]
うち企業等と連携した必修の演習の授業時数 15 単位8	間
企業等と連携した (うち企業等と連携したインターンシップの授業時数) 0単位限	間
実習等の実施状況 (A、Bいずれか (A、B) (A、B) (A B B B B B B B B B B B B B B B B B B	
(B:単位数による昇定)	\neg
総単位数 0 単位 うち企業等と連携した実験・実習・実技の単位数 0 単位	\dashv
つち企業寺と連携した実験・美省・美技の単位数 0単位 うち企業等と連携した演習の単位数 0単位	\dashv
うち必修単位数 0単位	\dashv
うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の単位数 0単位	\dashv
うち企業等と連携した必修の演習の単位数 0単位	\dashv
(うち企業等と連携したインターンシップの単位数) 0単位	\dashv
	<u> </u>
	\neg
① 専修学校の専門課程を修了した後、学校等において その担当する教育等に従事した者であって、当該専門課 (東藤学校和展育建等41条第1項第1号)	
ての担当する教育寺に近寺した有とのプで、当飲寺「Jok (専修学校設置基準第41条第1項第1号) 程の修業年限と当該業務に従事した期間とを通算して六 年以上となる者	
TWTC 90 B	1
② 学士の学位を有する者等 (専修学校設置基準第41条第1項第2号) 2 人	
教員の属性(専任 3 高等学校教諭等経験者 (専修学校設置基準第41条第1項第3号) 0 人	
教員について記 入) ④ 修士の学位又は専門職学位 (専修学校設置基準第41条第1項第4号) 0人	
(専修学校設置基準第41条第1項第5号) 0人	
計 5人	
	-
上記①~⑤のうち、実務変数員 (分野におけるおおおわち年以下の実際の経験を有し かつ 宮庫	
上記①~⑤のうち、実務家教員(分野におけるおおむね5年以上の実務の経験を有し、かつ、高度 の実務の能力を有する者を想定)の数	

- 1. 「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」 関係
- (1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

業界における人材の専門性に関する動向、地域の産業振興の方向性、必要な実務に関する知識や技能などを十分に把握・分析したうえで、当該専門課程の教育を施すためにふさわしいと考えられる授業科目の開設や、授業内容・方法の改善・工夫を行い、企業の要請を十分に活かし、実践的かつ専門的な職業教育を主体的に行うために、教育課程編成委員会を設置する。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記

教育課程編成委員会委員は学校法人未来創造学園職員及び企業・団体役職者等の外部委員からなるものとし、互いの視点からの意見を積極的に交換・活用し、より良い教育課程の編成を協力して行うものと位置付ける。

教育課程編成委員会は、各学科から示されたカリキュラム等の内容や実施状況について、業界において必要となる技術や知識を有する人材を育てる 観点から十分な審議を行い、教育課程の編成や内容についての具体的な方策を講じ、意見表明を行う。その後、各学科において当該意見を反映した 授業実施案を作成し、次回の教育課程編成委員会にて報告・審議・承認を受けたのち、学校長決裁を経て次年度教育課程が決定される。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

今和7年10日1日租本

		H. ri	/ 十 10 万 1 日 5 1 1 1
名 前	所 属	任期	種別
古荘 貴敏	株式会社古荘本店代表取締役社長・くまもとファッション協会会長	令和7年4月1日~令和9年3月 31日(2年)	1
有田 滿里子	有限会社有田 代表取締役社長	令和7年4月1日~令和9年3月 31日(2年)	3
内藤 謙一	学校法人未来創造学園 熊本デザイン専門学校 学校長	令和7年4月1日~令和8年3月 31日(1年)	_
児玉 守	学校法人未来創造学園 熊本デザイン専門学校 教務部長	令和7年4月1日~令和8年3月 31日(1年)	-
松本 雪	学校法人未来創造学園 熊本デザイン専門学校 副教務部長	令和7年4月1日~令和8年3月 31日(1年)	_
平野 恵子	学校法人未来創造学園 熊本デザイン専門学校 教務ファッション デザイン分野	令和7年4月1日~令和8年3月 31日(1年)	_

- ※委員の種別の欄には、企業等委員の場合には、委員の種別のうち以下の①~③のいずれに該当するか記載すること。
- (当該学校の教職員が学校側の委員として参画する場合、種別の欄は「一」を記載してください。)
 - ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、
 - 地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
 - ②学会や学術機関等の有識者
 - ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員
- (4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

年2回 (3月、8月)

(開催日時(実績))

第1回 令和6年9月25日 14:00~15:00

第2回 令和7年3月17日 10:00~11:00

- (5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況
- ※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。

第一回目の会議では、令和6年度の学科カリキュラム、および企業と連携して行ったアパレル実習の実施報告に基づき、授業や実習の効果を上げるための意見交換を行った。さらに、入学者のアンケート結果をもとに考察し、今後の広報面に対する意見交換を行った。また、今後の研修旅行のあり方について検討し、東京のみならず多方面での検討、また学科毎に目的となるイベントがある為、学科別実施も視野にいれても良いのではないかという意見も出た。

第二回目の会議では令和6年度の実施内容を報告した。特に卒業制作の取り組みにおいて、サスティナブルな考え方や取り組みにも評価をいただき、 今後の活動についても助言をいただいた。また、講師陣の幅を広げ、より良い学びの環境を作ることについても意見交換を行ったことで、単発での授業 など、学びの幅を広げる可能性が出てきた

2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

アパレル業界での即戦力を目指すために、実店舗にて接客、販売、商品管理等に必要な知識・技術を習得させる。必要知識を得るために、現場担当者 (専門的知識・技術を有する方)による演習や、長年熊本のファッションの移り変わりを見てきた上での、熊本ファッションの歴史や、地域生活者の特性や 動向に関する考え方を身に付ける。職種を問わず、商品の最終段階にあたる店舗販売を通して、学生自身のスキルアップと目的意識の明確化を目的 に授業を展開することを基本方針とする。

(2)実習・演習等における企業等との連携内容

※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記

教育課程編成委員会等において出された意見を基に、事前に職業教育協定書により協定を締結した企業側講師と担当教員による綿密な打ち合わせ を行い、授業内容や学修成果の評価方法を決定する。また、演習期間中は随時情報交換を行うことで、学修効果の向上を図るとともに、演習終了後に は、企業側講師による学生の学修成果の評価を踏まえ、担当教員が成績評価を行う。

(3)具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科 目 名	企業連携の方法	科目概要		連	携	企	業	等	
アパレル演習	1.【校内】企業等 からの講師が全て の授業を主担当	アパレル業界での店舗運営から、お客様に必要とされるお店作りや品揃え、接客などについてを修得する。実店舗を見学し、そのブランドの歴史やコンセプト、VMDやお客様への伝え方などを学び、アパレル販売の中で基本となる接客技術をはじめ、サイジング、ディスプレイ技術などを身に付ける。	有限会社	有田					

3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1)推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

※研修等を教員に受講させることについて諸規程に定められていることを明記

「学校法人未来創造学園熊本デザイン専門学校教職員研修規程」に基づき、専攻分野に係わる教員の資質(知識、技術、技能)が何かを、関連する企 業や関連団体等に広く意見を伺い、効果的な指導がなされるよう研修計画を立てて実施する。また、学級運営力の向上や教育法の習得等の研修にも 併せて取り組んでいく。研修機会としては、関連する企業や関連団体等から招いた講師による学内研修や、各種団体が開催する学外研修が考えられ る。

(2)研修等の実績

①専攻分野における実務に関する研修等

研修名: ジェネレーティブAIとファッションの未来 #4 連携企業等: OpenFashion

2024年9月20日(金)14:30~16:30予定 期間:

「ファッション業界における生成AIの役割」をテーマに、デザイン、教育、業界といった3つのパートに分けて開催

各パートには、生成AIをデザインに取り入れているブランド「SEVESKIG(セヴシグ)」デザイナーの長野氏や、東京モード学園にて校長 内容 を務める吉田氏をはじめ、ファッション業界の最先端で活躍する方々が登壇し、AIの最新活用事例やファッションクリエイティブへの影

響を深く掘り下げる。

ファッションの未来 連携企業等: ファッションビジネス学会 研修名: 「教育とビジネスの現場から考えるイノベーション」

期間: 2025年9月8日(月)13時~16時30分 対象: アパレル業界

業界の第一線で活躍する教育者・実業家を招いて「ファッションの未来を創る教育と産業の関係性」をテーマに シンポジウムを開催。 内容

急速に変化する社会に適応しながらも、私たちは何を守り、どんな新しい価値を創造していくべきか。学校教育と企業の現場、双方

対象:一般

の視点で考察を深める。

②指導力の修得・向上のための研修等

連携企業等: 未来創造学園 最新生成AIトレンドについて 研修名:

令和6年7月31日(水)14時15分~16時 対象: 企業•学校関係者等 期間:

AI導入の成功事例、AI活用による地域戦略、人材育成の新しい方法論 内容

発達障害のある生徒への具体的な支援/合理的配慮 連携企業等: 熊本市発達障がい者支援センターみなわ 研修名:

期間: 令和6年8月4日(木)10時~12時 対象: 学校関係者等

合理的配慮の基本、現場で悩みがちなケースの共有、支援や環境調整等についての考え方 内容

大学志向が高まる中での専門学校における学生募集 連携企業等: 株式会社進研アド 研修名:

対象: 専門学校教職員等 期間: 令和6年9月24日(火)16時~17時

内容 高等教育機関[大学・専門学校]の最新動向、高校現場における進路研究の最新動向

(3)研修等の計画

①専攻分野における実務に関する研修等

FaW TOKYO (ファッション ワールド 東京)セミナー 連携企業等: RX Japan 株式会社 研修名:

期間: 令和7年10月1日(水) 対象: アパレル業界

内容 東京ビッグサイトで開催されるFaw TOKYO内のセミナーを受講予定。

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名: 専門学校における発達障害支援とは? 連携企業等: 筑波大学ダボットプロジェクト

期間: 令和7年1月16日(火)17時~19時 対象: 一般•学校教職員等

内容 専門学校における発達障害支援をテーマとし、知見、学生支援の実態、支援ツールの活用について

未来の専修学校をつくる~教員研修と卒業生調査のヒ 研修名: 連携企業等:株式会社三菱総合研究所 ント~

対象: 専門学校教職員等 期間: 令和7年2月18日(火)16時~18時

教職員とともに成長する学校づくり、教職員への支援のあり方、卒業生調査の活用など 内容

教育目標の達成に向けた『入学前』からの指導体制づ 連携企業等:株式会社進研アド

研修名:

対象: 学校関係者等 期間: 令和7年8月26日(火)15時~16時

内容 近年の大学・短大・専門学校進学者の学力や学習習慣、進学意識について分析

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たって は、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1)学校関係者評価の基本方針

学校関係者評価は教職員で実施した自己評価を、企業・高等学校・保護者・卒業生等の学校関係者それぞれの視点から意見を伺い、お互いの理解を 深めるためのものとする。また、その評価の過程において、自己評価の妥当性を検証するとともに、客観性・透明性をより高め、公共性の高い社会に寄 与する学校を目指すことを基本方針とする。

(2)「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1)教育理念・目標	教育理念·目標
(2)学校運営	学校運営
(3)教育活動	教育活動
(4)学修成果	学修成果
(5)学生支援	学生支援
(6)教育環境	教育環境
(7)学生の受入れ募集	学生の受入れ募集
(8)財務	財務
(9)法令等の遵守	法令等の遵守
(10)社会貢献・地域貢献	
(11)国際交流	

※(10)及び(11)については任意記載 (3)学校関係者評価結果の活用状況

学生支援については概ね良い評価を受けた。学生対応は主に担任が窓口となり、当事者から十分にヒアリングし、本人の意思を確認して対応している。内容に応じて他分掌とも連絡を密にするよう注力しており、今までのとこと大きな問題となることはなく機能している。

教育の内部質保証については、職業実践専門課程の認定に伴い順次対応を行っている。今後、情報管理システムを導入し、一元管理を行うとともに、 管理体制を階層化し、責任の所在を明確にして管理を徹底していきたい。

(4)学校関係者評価委員会の全委員の名簿

名 前	所 属	任期	種別
有田 滿里子		令和7年4月1日~令和9年3月 31日(2年)	企業等委員
島村 徹		令和7年4月1日~令和9年3月 31日(2年)	企業等委員
田中 千秋		令和7年4月1日~令和9年3月 31日(2年)	企業等委員
古家 達也	株式会社フィールトリークス 代表取締役社長		企業等委員
甲斐 広美		令和7年4月1日~令和8年3月 31日(1年)	保護者委員
内村 友造		令和7年4月1日~令和9年3月 31日(2年)	卒業生委員

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例)企業等委員、PTA、卒業生等

(5)学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ・)広報誌等の刊行物・ その他(

URL https://kumamoto-design.ac.jp/school/publishing

公表時期: 令和7年7月1日

5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供している こと。」関係

(1)企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

企業等の学校関係者と連携・協力を通じて、健全な学校運営と教職員の資質向上に取り組んでいくことを目的とするため、教育活動等の学校運営状況 に関する情報を提供することを基本方針とする。

(2)「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1)学校の概要、目標及び計画	ホームページ「学校案内」に掲載
(2)各学科等の教育	ホームページ「学科紹介」に掲載
(3)教職員	ホームページ「教員・職員紹介」に掲載
(4)キャリア教育・実践的職業教育	ホームページ「就職支援」に掲載
(5)様々な教育活動・教育環境	ホームページ「学校生活」に掲載
(6)学生の生活支援	ホームページ「学校生活」に掲載
(7)学生納付金・修学支援	ホームページ「入学案内」及び募集要項に掲載
(8)学校の財務	ホームページ「財務情報」に掲載
(9)学校評価	ホームページ「学校関係者評価結果」に掲載
(10)国際連携の状況	
(11)その他	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)情報提供方法

広報誌等の刊行物 ・ その他(

<u>((ホー</u>ムページ https://kumamoto-design.ac.jp/school/publishing 令和7年7月1日 URL:

公表時期:

授業科目等の概要

	()	文化	教養	専門課程 ファ	ッションデザイン科クリエイティブ専攻コース	.)										
		分類	į			配	授		授	業プ	<u>方法</u>	場	所	教	員	企
		必	由	授業科目名	授業科目概要	出年次・学期	業時数	単位数		演習	技実			専任		業
1	0			系例子	ファッションの材料となる素材の基本的性質を知ると共に、多くの生地に触れてその感覚や使い方を身につける。その特性とそれを活かす方法を理解することで実践的に役立て、また、取り扱いを理解することで、より専門的知識を持ったデザイナーやアドバイザーを目指す。市場で使われている生地の名前や、そのアイテムとの関連なども学修する。	1 年	30		0			0		0		
2	0			服飾史	西洋服飾の歴史を学ぶ。歴史上でどのような 文化のもと、どのように美意識が変化してい くのか、またそれにより人々のファッション に対する考えやそのデザインがどのように影 響を受けていくのかを学修する。過去の時代 背景とファッションの関連を学ぶことによ り、今後の流行を予測する力を身につける。	1 年	30		0			0		0		
3	0			パターンメー	採寸から基本アイテムの製図まで、パターンメーキングの基礎を指導する。体と服とゆと りの関係を理解し、演習を通して平面から立 体を作り出す構成感覚を身につけ、工業用パ ターンの作成までを行う。	1 年	120			0		0			0	
4	0			9-1 29	アパレル生産の基礎を指導する。職業用ミシン、工業用ミシン、ロックミシン、工業用アイロン等の操作方法を身に付け、スカート、パンツ、シャツ、ジャケット等の基本的なアイテムの構成を理解し、演習を通して既製服の縫製技術を身に付ける。		120			0		0		0		
5	0			ベーシックデ ザイン	色彩検定に向けての学習と共に、色彩の基礎的な知識をアクリル絵の具による実技課題を通して、修得していく。色彩検定の基礎的な知識と職能的な知識を生かして、平面構成の図案の構成力、配色計画、アナログ技法の技術表現力を修得する。	1 年	75			0		0		0		
6	0			総合デザイン	多岐に渡るデザイン分野の各専門知識や技術 を、各専門分野の講師陣からオムニバス形式 により具体的実例を専門家の考え方や手法を 理解する。	年	15		0			0			0	
7	0			デザイン画 I	人体のバランスの取り方から、イメージした デザインを表現するための技術までを基礎か ら指導する。	1 年	75			0		0			0	

8	0	ファッション ビジネス論 I	ファッション産業の仕組みや特性について解説する。 産業構造、ビジネスの特性と変遷、社会と消費者の変化等、業界全体の現状を把握し、業態別ビジネスの特性、MD基礎知識とブランド展開についての基礎的な知識を身に付ける。	1 年	75	C)	0	0	
9	0	スタイリング コーディネー ト	ファッションアイテムに関する基礎知識とスタイリングコーディネートの方法を指導、また、スタイリングコーディネートに必要なへアアレンジ、メイク方法、ポージングやウォーキングの指導をする。アイテム名、ディテール、シルエット、ラインなど、商品に関する基礎知識を身につけ、スタイリングコーディネートでの応用力を身につける。	1 年	48		0	0	Δ	0
10	0	ファッション マーケティン グ	プランニングの基礎となるターゲット企画や情報分析等を指導する。クラスター分析を行いイメージマップの作成とライフスタイルをはじめとする周辺情報を収集・分析する力を身につける。市場調査の方法を身に付け、トレンド情報やブランド情報を収集・分析する能力を身に付ける。	1 年	60		0	0	0	
11	0	ファッション デザイン論	ファッションデザインを学ぶうえで必要となる基本的な知識を学修する。ファッションデザインとは何か、また、その考えをどのように表現していくのか、そこに必要な知識·技術を身につける。デザインプロセスや造形の基本テクニック、などを学び、他の科目で実践的に身につけられる入口になるよう連携を図る。	1年前期	15	O)	0	0	
12	0	販売概論	ファッション販売の概要とショップスタッフの対応力、快適な売場運営について指導する。 今、実店舗に求められるショップスタッフの 役割を理解し、お客様の購買行動と心理プロ セスに沿った対応力を修得する。	1 年	30	C)	0	0	
13	0	修了制作	オリジナルデザインの提案を指導する。1年間の集大成としてマーケティングリサーチからコンセプトワーク、デザイン、パターン、ソーイング、企画書作成、プレゼンテーションまでを一貫して行う。	年後	198		0	0	0	
14	0		百貨店において、接客サービスに従事し、接 遇指導の実績のある教員が、社会人としての 基礎力を指導する。 第一印象から身だしな み、正しい言葉遣いから、「話す」「聞く」 等の表現を実践的に身に付け、公的な場面で の好感のもてるマナーやコミュニケーション 力を修得する。	1 年	30	C)	0	0	
15	0	社会研究 I	働くことの意義、業界研究、自己分析を経て 自己の社会的確立を目的とし、進路決定の基 本となる考え方と就職活動の具体的方法を学 ぶ。	年	15	C)	0	0	

16	0		パターンメーキング技術の応用として、2年次で制作する総裏仕立てのジャケット又はコートの作図を指導する。演習を通して素材やデザインに合わせた作図の技術を身に付ける	年	24		С		0		0
17	0	社会研究Ⅱ	将来の職業への関心を更に深め、働く事の意義や構造について学ぶと同時に、社会におけるコミュニケーションのあり方を修得し、意欲的な人生設計への実現に向けた選択行動が取れるようになる事を目的とする。	年前	15		O		0	0	
18	0		アパレル業界におけるマーケティング、及び プランニングの流れを解説し、実践する。 マーケットリサーチ、ロジカルシンキングを 通し、市場の流れ、業界動向、流行を読み取 る力を修得する。	年前	45		С		0	0	
19	0	グラフィック デザイン	IllustratorとPhotoshopのアプリケーションソフトを使ってポスター、リーフレット、カタログ制作やWebサイト制作など広報ツール制作について指導する。	<u>Z</u>	90		С)	0	0	
20	0	品質管理	アパレルに求められる品質と消費性能について理解し、品質基準、品質管理、品質評価、洗濯などの取り扱い方法や品質表示について学ぶ。実践的なしみ抜きなども取り入れ、現場で役立つ品質にかかわる知識を身につける。また、お客様に伝えるべき品質と取り扱いを理解し、その伝え方やクレーム対策についても学ぶ。	2年前期	15	(0	0	
21	0		ファッションの現場で多く使用されている Instagramに重点を置き、演習を交えながら情報の発信方法やファン育成のノウハウといったセルフブランディングのための基礎スキルを指導し、就職後、即戦力となれるような人材育成を行う。	2 年 後	24		С)	0		0
22	0	WEBビジネス	WEBビジネスや、EC(Electronic Commerce電子 商取引)において、知っておくべき基礎知識 と、一個人でもECの開設、運用ができる力を 養い、ネット市場とネットショップ運営に関 する授業を行う	年 後	16		С		0		0
23	0	デザイン画Ⅱ	ー年次に履修したデザイン画の基礎をもとに 素材や質感ディティールなどを表現技法と合った画材の選出を含め 自分のイメージ通りに表現する手法を指導する。	年	45		С)	0		0
24	0	ファッション ビジネス論 II	ファッションビジネスの総合的、かつ高度な 理解を目的とた、実務的な応用理論を解説する。国内のみならず、世界のファッションビ ジネスの変遷と現状、産業構造やビジネスシ ステムについて理解を深める。	2	90	()		0	0	

25	0		実際の店舗での接客・販売技術を指導する。 実際の店舗においてブランドや商品の知識を 身に付ける。また、アパレル販売の中で基本 となる接客技術をはじめ、サイジングやお直 し、ディスプレイ、ロールプレイングなどを 行い、店頭でのインターンシップを通してそ れらの技術を実践的に身に付ける。	年前期	15	Δ	0	Δ		0		0	0
26	0	ワーク	それぞれのテイストに合わせたスタイリング 技術を指導する。また、Instagramファッショ ンアカウントを運用し、ファッションページ の制作を指導する。	年	45		0		0			0	
27	0	卒業制作	オリジナルブランドのプロデュースを指導する。グループワークにより、マーケティングリサーチからコンセプトワーク、デザイン、パターン、ソーイング、コーディネート、広報、販売展開までを一貫して行う。	年後	245		0		0		0		
28	0	ブランドプロ デュース	商品企画の基本的な流れを学び、既存のブランド研究をもとに、市場やターゲットにマッチした商品提案力を身につける。ファッションマーケティングの授業と連動させ、市場調査から導いたコンセプトに合わせた提案ができる力を修得する。	2 年	75		0		0		0		
29	0	ドレーピング	身体の立体的構造を理解し、ドレーピングの基本的な知識と技術を習得することで、よりデザイン画に近い立体を作り出す技術を身につける。パターンメーキングでの平面製図と連動させながら、よりパターンの仕組みと構造を理解するとともに、ドレーピングだからこそできる立体表現力を身につける。	2年	75		0		0		0		
30	0	クリエイティ ブパターンⅡ	パターンの応用としてアイテム、デザイン、素材に応じたファーストパターンから工業用パターン作成法を指導する。パターンメーキング検定2級の内容を取り入れ理解を深めていくと共に、リアルクローズに必要なパターン技術を修得していく。	2 年	75		0		0		0		
31	0	ブソーイング	業界で即応できる生産技術を指導する。総裏テーラードジャケット又はコートの構成を理解し、演習を通して素材特性を活かした縫製技術を身に付ける	2年	90 ·目		0	1920	〇	à (〇	時即	到)

	卒業要件及び履修方法	授業期間等	F
卒業要件:	・出席率が80%以上であること ・当該年次の科目全てに合格すること ・卒業制作または卒業研究に合格すること ・当該年次の授業料等諸経費が完納されていること	1 学年の学期区分	2 期
履修方法:	学則に定める教育課程に基づき授業科目を履修し、学修の評価により科 目を修得する。	1 学期の授業期間	15 週

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について〇を付すこと。

職業実践専門課程等の基本情報について

熊本デザイン専門設置者名		設置認可	可年月日	校	長名			所在地			
設置者名	9学校		12月24日	校長(内藤謙一	〒 (住所)	862-0973 熊本県熊本市中央区	☑大江本町2-5			
		設立認7	可年月日	代表	養者名	(電話)	096-364-8500	所在地			
学校法人未来創造	造学園	平成22	年3月2日	理事長	吉山昌利	〒 (住所)	862-0976 熊本県熊本市中央区	☑九品寺2丁目2-38			
分野		認定課程名		認定学科	名	(電話)	096-362-5656 門士認定年度	高度専門士認定	年度 1	職業実践専	門課程認定年度
文化·教養		教養専門課程		ョンテザイン ビジネス専攻	科ファッショ		艾14(2002)年度	-	1,0		7(2015)年度
学科の目的	ファッション	ハことどまらず、ラ				を持った人	材を育成し、業界へ送り	出すことを目的とする。	,		
学科の特徴(取得 可能な資格、中退 率 等)	色彩検定、	ファッションビジ	ネス能力検定、	パターンメーニ	キング技術検り	ŧ					
修業年限	昼夜	全課程の修了	に必要な総授業 単位数	時数又は総	講事	É	演習	実習	実駅	ф	実技
2	昼間	※単位時間、単位し かに記入	vずれ 1,92	0 単位時間	360	単位時間	1,560 単位時間	0 単位時間		単位時間	0 単位時間
生徒総定員	生徒実		学生数(生徒実)	単位 風の内数)(B)	留学生割	単位 合(B/A)	中退率	単位		単位	単位
50 人	25			0 人	0		4 %				
	■卒業者		:	5	- 0	人	4 10				
	■就職希	望者数(D)	:	4		Ž.	- -				
		職者数(F)	:	3		<u> </u>	<u>-</u>				
[■就職率		融者の割合 / ロ	100 /F)		%	-				
				75 75		%	-				
l l	■卒業者[こ占める就職者(D割合 (E/C)	80		%					
	■進学者			0		人	- -				
	■その他										
	(令和	6 年度	卒業者に関する	令和 7 年5月	1 日時点の情報	服)					
1	■主な就師	職先、業界等									
	(令和6年度										
	アパレル1	企 兼、									
		評価機関等から					無				
第三者による 学校評価	水有の場合	、例えば以下につ	いし仕忌記載					T 什 田 人			
J IXITIM	Ī	評価団体:			受審年月:			価結果を掲載した ームページURL			
当該学科の											
ホームページ H URL	https://w	ww.kumamoto-	design.ac.jp								
	(A:単代	立時間による算定	?)								
	12	総授業時数							1, 920 🗎	单位時間	
			企業等と連携し	た実験・実習	冒・実技の授業	業時数				単位時間	
			企業等と連携し							単位時間	
		うち	必修授業時数						1,920 🗎	単位時間	
			うち企業	等と連携した	必修の実験・	実習・実	支の授業時数		0 1	単位時間	
			うち企業	等と連携した	:必修の演習の)授業時数			15 ≟	単位時間	
企業等と連携した		(う	ち企業等と連携	もしたインター	- ンシップの 担	受業時数)			0	単位時間	
実習等の実施状況 (A、Bいずれか	-	·								·	
(A、Bいずれがに記入)	F	数による算定)									
		総単位数	A alle for			L W				単位	
			企業等と連携し			立数				単位	
			企業等と連携し	/に演省の単位	上蚁					単位	
		75	必修単位数	等と連携した	心体の史段	宇羽 ,中	古の単位巻			単位 単位	
				等と連携した			人少于世数			単位	
		(5	ち企業等と連携							単位	
	l				, , , ,						
		① 専修学校の									
		その担当する教 程の修業年限と	当該業務に従事				校設置基準第41条第1項	第1号)	3 ,	٨.	
		年以上となる者									
		② 学士の学位	を有する者等			(専修学	校設置基準第41条第1項	第2号)	2 ,	ν.	
教員の属性(専任		③ 高等学校教	諭等経験者			(専修学	中校設置基準第41条第1項	第3号)	0 ,		
		④ 修士の学位	又は専門職学位	±		(専修学	校設置基準第41条第1項	第4号)	0 ,	τ	
教員について記		⑤ その他					校設置基準第41条第1項		0 ,		
									5 ,		
教員について記	j	11							ر ب		
教員について記		計								~	
教員について記	[A PAGE - 10	2 (1) ==	174.	- h	th 74 o 47 " ^ + - '	- **			
教員について記					ナるおおむね!	5年以上の	実務の経験を有し、か	つ、高度	2 ,		

- 「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」 関係
- (1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

業界における人材の専門性に関する動向、地域の産業振興の方向性、必要な実務に関する知識や技能などを十分に把握・分析したうえで、当該専門 課程の教育を施すためにふさわしいと考えられる授業科目の開設や、授業内容・方法の改善・工夫を行い、企業の要請を十分に活かし、実践的かつ専 門的な職業教育を主体的に行うために、教育課程編成委員会を設置する。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記

教育課程編成委員会委員は学校法人未来創造学園職員及び企業・団体役職者等の外部委員からなるものとし、互いの視点からの意見を積極的に交 換・活用し、より良い教育課程の編成を協力して行うものと位置付ける。

教育課程編成委員会は、各学科から示されたカリキュラム等の内容や実施状況について、業界において必要となる技術や知識を有する人材を育てる観 点から十分な審議を行い、教育課程の編成や内容についての具体的な方策を講じ、意見表明を行う。その後、各学科において当該意見を反映した授業 実施案を作成し、次回の教育課程編成委員会にて報告・審議・承認を受けたのち、学校長決裁を経て次年度教育課程が決定される。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和7年10月1日現在

	名 前	所 属	任期	種別
古	荘 貴敏		令和7年4月1日~令和9年3月 31日(2年)	1)
有	田 滿里子		令和7年4月1日~令和9年3月 31日(2年)	3
内	藤謙一		令和7年4月1日~令和8年3月 31日(1年)	_
児	玉 守		令和7年4月1日~令和8年3月 31日(1年)	_
松	本 雪		令和7年4月1日~令和8年3月 31日(1年)	_
平	野 恵子		令和7年4月1日~令和8年3月 31日(1年)	_

- ※委員の種別の欄には、企業等委員の場合には、委員の種別のうち以下の①~③のいずれに該当するか記載すること。
- (当該学校の教職員が学校側の委員として参画する場合、種別の欄は「一」を記載してください。)
 - ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、 地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
 - ②学会や学術機関等の有識者
 - ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員
- (4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

年2回 (3月、8月)

(開催日時(実績))

第1回 令和6年9月25日 14:00~15:00

第2回 令和7年3月17日 10:00~11:00

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。

第一回目の会議では、令和6年度の学科カリキュラム、および企業と連携して行ったアパレル実習の実施報告に基づき、授業や実習の効果を上げるための意見交換を行った。さらに、入学者のアンケート結果をもとに考察し、今後の広報面に対する意見交換を行った。また、今後の研修旅行のあり方に ついて検討し、東京のみならず多方面での検討、また学科毎に目的となるイベントがある為、学科別実施も視野にいれても良いのではないかという意見 も出た

第二回目の会議では令和6年度の実施内容を報告した。特に卒業制作の取り組みにおいて、サスティナブルな考え方や取り組みにも評価をいただき 今後の活動についても助言をいただいた。また、講師陣の幅を広げ、より良い学びの環境を作ることについても意見交換を行ったことで、単発での授業 など、学びの幅を広げる可能性が出てきた

2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

アパレル業界での即戦力を目指すために、実店舗にて接客、販売、商品管理等に必要な知識・技術を習得させる。必要知識を得るために、現場担当者 (専門的知識・技術を有する方)による演習や、長年熊本のファッションの移り変わりを見てきた上での、熊本ファッションの歴史や、地域生活者の特性や 動向に関する考え方を身に付ける。職種を問わず、商品の最終段階にあたる店舗販売を通して、学生自身のスキルアップと目的意識の明確化を目的に 授業を展開することを基本方針とする。

(2)実習・演習等における企業等との連携内容

※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記

教育課程編成委員会等において出された意見を基に、事前に職業教育協定書により協定を締結した企業側講師と担当教員による綿密な打ち合わせを 行い、授業内容や学修成果の評価方法を決定する。また、演習期間中は随時情報交換を行うことで、学修効果の向上を図るとともに、演習終了後に は、企業側講師による学生の学修成果の評価を踏まえ、担当教員が成績評価を行う。 (3)具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科 目 名	企業連携の方法	科目概要	連携企業等
		アパレル業界での店舗運営から、お客様に必要とされるお店作り や品揃え、接客などについてを修得する。実店舗を見学し、そのブ ランドの歴史やコンセプト、VMDやお客様への伝え方などを学び、 アパレル販売の中で基本となる接客技術をはじめ、サイジング、 ディスプレイ技術などを身に付ける。	有限会社 有田

3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1)推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

※研修等を教員に受講させることについて諸規程に定められていることを明記

「学校法人未来創造学園熊本デザイン専門学校教職員研修規程」に基づき、専攻分野に係わる教員の資質(知識、技術、技能)が何かを、関連する企業や関連団体等に広く意見を伺い、効果的な指導がなされるよう研修計画を立てて実施する。また、学級運営力の向上や教育法の習得等の研修にも併せて取り組んでいく。研修機会としては、関連する企業や関連団体等から招いた講師による学内研修や、各種団体が開催する学外研修が考えられる。

(2)研修等の実績

①専攻分野における実務に関する研修等

研修名: ジェネレーティブAIとファッションの未来 #4 連携企業等: OpenFashion

期間: 2024年9月20日(金)14:30~16:30予定 対象: 一般

「ファッション業界における生成AIの役割」をテーマに、デザイン、教育、業界といった3つのパートに分けて開催。

各パートには、生成AIをデザインに取り入れているブランド「SEVESKIG(セヴシグ)」デザイナーの長野氏や、東京モード学園にて校長を 内容

Y谷 務める吉田氏をはじめ、ファッション業界の最先端で活躍する方々が登壇し、AIの最新活用事例やファッションクリエイティブへの影響を深く掘り下げる。

ファッションの未来

研修名: 「教育とビジネスの現場から考えるイノベーション」 連携企業等: ファッションビジネス学会

期間: 2025年9月8日(月)13時~16時30分 対象: アパレル業界

業界の第一線で活躍する教育者・実業家を招いて「ファッションの未来を創る教育と産業の関係性」をテーマに シンポジウムを開催。 内容 急速に変化する社会に適応しながらも、私たちは何を守り、どんな新しい価値を創造していくべきか。学校教育と企業の現場、双方

の視点で考察を深める。

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名: 最新生成AIトレンドについて 連携企業等:未来創造学園

期間: 令和6年7月31日(水)14時15分~16時 対象: 企業·学校関係者等

内容 AI導入の成功事例、AI活用による地域戦略、人材育成の新しい方法論

研修名: 発達障害のある生徒への具体的な支援/合理的配慮 連携企業等: 熊本市発達障がい者支援センターみなわ

期間: 令和6年8月4日(木)10時~12時 対象: 学校関係者等

内容 合理的配慮の基本、現場で悩みがちなケースの共有、支援や環境調整等についての考え方

大学志向が高まる中での専門学校における学生募集 研修名: 戦略とは 連携企業等:株式会社進研アド

期間: 令和6年9月24日(火)16時~17時 対象: 専門学校教職員等

内容 高等教育機関[大学・専門学校]の最新動向、高校現場における進路研究の最新動向

(3)研修等の計画

①専攻分野における実務に関する研修等

研修名: FaW TOKYO (ファッション ワールド 東京) セミナー 連携企業等: RX Japan 株式会社

期間: 令和7年10月1日(水) 対象: アパレル業界

内容 東京ビッグサイトで開催されるFaw TOKYO内のセミナーを受講予定。

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名: 専門学校における発達障害支援とは? 連携企業等: 筑波大学ダボットプロジェクト

期間: 令和7年1月16日(火)17時~19時 対象: 一般·学校教職員等

内容
専門学校における発達障害支援をテーマとし、知見、学生支援の実態、支援ツールの活用について

研修名: 大木の等で子校を入る~教員研修と学業生調査の 連携企業等:株式会社三菱総合研究所

期間: 令和7年2月18日(火)16時~18時 対象: 専門学校教職員等

内容 教職員とともに成長する学校づくり、教職員への支援のあり方、卒業生調査の活用など

教育目標の達成に向けた『入学前』からの指導体制づ 連携企業等:株式会社進研アド

が修名: くり 生物による: 体式云社進術アド

期間: 令和7年8月26日(火)15時~16時 対象: 学校関係者等

内容 近年の大学・短大・専門学校進学者の学力や学習習慣、進学意識について分析

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たって は、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1)学校関係者評価の基本方針

学校関係者評価は教職員で実施した自己評価を、企業・高等学校・保護者・卒業生等の学校関係者それぞれの視点から意見を伺い、お互いの理解を 深めるためのものとする。また、その評価の過程において、自己評価の妥当性を検証するとともに、客観性・透明性をより高め、公共性の高い社会に寄 与する学校を目指すことを基本方針とする。

(2)「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1)教育理念·目標	教育理念·目標
(2)学校運営	学校運営
(3)教育活動	教育活動
(4)学修成果	学修成果
(5)学生支援	学生支援
(6)教育環境	教育環境
(7)学生の受入れ募集	学生の受入れ募集
(8)財務	財務
(9)法令等の遵守	法令等の遵守
(10)社会貢献・地域貢献	
(11)国際交流	

^{※(10)}及び(11)については任意記載 (3)学校関係者評価結果の活用状況

学生支援については概ね良い評価を受けた。学生対応は主に担任が窓口となり、当事者から十分にヒアリングし、本人の意思を確認して対応している。 内容に応じて他分掌とも連絡を密にするよう注力しており、今までのとこと大きな問題となることはなく機能している。

教育の内部質保証については、職業実践専門課程の認定に伴い順次対応を行っている。今後、情報管理システムを導入し、一元管理を行うとともに、 管理体制を階層化し、責任の所在を明確にして管理を徹底していきたい。

(4)学校関係者評価委員会の全委員の名簿

名 前	所 属	任期	種別
有田 滿里子			企業等委員
島村 徹		令和7年4月1日~令和9年3月 31日(2年)	企業等委員
田中 千秋	株式会社放送技研 代表取締役	0.14(2.17	企業等委員
古家 達也		令和7年4月1日~令和9年3月 31日(2年)	企業等委員
甲斐 広美	社 校生保護有	5. H (. 1)	保護有委貝
内村 友造		令和7年4月1日~令和9年3月 31日(2年)	卒業生委員

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例)企業等委員、PTA、卒業生等

(5)学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ)広報誌等の刊行物 その他(

https://kumamoto-design.ac,jp/school/publishing 令和7年7月1日 URI

公表時期:

5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供しているこ と。」関係

(1)企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

企業等の学校関係者と連携・協力を通じて、健全な学校運営と教職員の資質向上に取り組んでいくことを目的とするため、教育活動等の学校運営状況 に関する情報を提供することを基本方針とする。

(2)「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

(2) 寺门子校に857 の自我を伝す、の状態に関するカイトプランの独自との対応										
ガイドラインの項目	学校が設定する項目									
(1)学校の概要、目標及び計画	ホームページ「学校案内」に掲載									
(2)各学科等の教育	ホームページ「学科紹介」に掲載									
(3)教職員	ホームページ「教員・職員紹介」に掲載									
(4)キャリア教育・実践的職業教育	ホームページ「就職支援」に掲載									
(5)様々な教育活動・教育環境	ホームページ「学校生活」に掲載									
(6)学生の生活支援	ホームページ「学校生活」に掲載									
(7)学生納付金・修学支援	ホームページ「入学案内」及び募集要項に掲載									
(8)学校の財務	ホームページ「財務情報」に掲載									
(9)学校評価	ホームページ「学校関係者評価結果」に掲載									
(10)国際連携の状況										
(11)その他										

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)情報提供方法

広報誌等の刊行物 ・ その他(

URL: https://kumamoto-design.ac.jp/school/publishing

公表時期 令和7年7月1日

授業科目等の概要

	(文化教養専門課程 ファッションデザイン科ファッションビジネス専攻コース)															
		分類				配	授	授業方法					教	員	企	
	必修	選択必修	自由選択	授業科目名	授業科目概要	出 年次・学期	業時数	単位数	講義		実験・実習・実		校外			業等との
1	0			条例子	ファッションの材料となる素材の基本的性質を知ると共に、多くの生地に触れてその感覚や使い方を身につける。その特性とそれを活かす方法を理解することで実践的に役立て、また、取り扱いを理解することで、より専門的知識を持ったデザイナーやアドバイザーを目指す。市場で使われている生地の名前や、そのアイテムとの関連なども学修する。	1 年	30		0			0		0		
2	0			服飾史	西洋服飾の歴史を学ぶ。歴史上でどのような文化のもと、どのように美意識が変化していくのか、またそれにより人々のファッションに対する考えやそのデザインがどのように影響を受けていくのかを学修する。過去の時代背景とファッションの関連を学ぶことにより、今後の流行を予測する力を身につける。	1 年	30		0			0		0		
3	0			パターンメー キング	採寸から基本アイテムの製図まで、パターンメーキングの基礎を指導する。体と服とゆとりの関係を理解し、演習を通して平面から立体を作り出す構成感覚を身につけ、工業用パターンの作成までを行う。		120			0		0			0	
4	0			7-4 29	アパレル生産の基礎を指導する。職業用ミシン、 工業用ミシン、ロックミシン、工業用アイロン等 の操作方法を身に付け、スカート、パンツ、シャ ツ、ジャケット等の基本的なアイテムの構成を理 解し、演習を通して既製服の縫製技術を身に付け る。	1 年	120			0		0		0		
5	0				色彩検定に向けての学習と共に、色彩の基礎的な知識をアクリル絵の具による実技課題を通して、修得していく。色彩検定の基礎的な知識と職能的な知識を生かして、平面構成の図案の構成力、配色計画、アナログ技法の技術表現力を修得する。	1	75			0		0		0		
6	0				多岐に渡るデザイン分野の各専門知識や技術を、 各専門分野の講師陣からオムニバス形式により具 体的実例を専門家の考え方や手法を理解する。	1年前期	15		0			0			0	
7	0			デザイン画 I	人体のバランスの取り方から、イメージしたデザ インを表現するための技術までを基礎から指導す る。	1 年	75			0		0			0	

			 ファッション産業の仕組みや特性について解説す								\prod
8	0		る。 産業構造、ビジネスの特性と変遷、社会と消費者の変化等、業界全体の現状を把握し、業態別ビジネスの特性、MD基礎知識とブランド展開についての基礎的な知識を身に付ける。	1 年	75	C		0	C		
9	0	スタイリング コーディネー ト	ファッションアイテムに関する基礎知識とスタイリングコーディネートの方法を指導、また、スタイリングコーディネートに必要なヘアアレンジ、メイク方法、ポージングやウォーキングの指導をする。アイテム名、ディテール、シルエット、ラインなど、商品に関する基礎知識を身につけ、スタイリングコーディネートでの応用力を身につける。	年	48		0	0	Δ	v 0	
10	0	ファッション マーケティン グ	プランニングの基礎となるターゲット企画や情報 分析等を指導する。クラスター分析を行いイメー ジマップの作成とライフスタイルをはじめとする 周辺情報を収集・分析する力を身につける。市場 調査の方法を身に付け、トレンド情報やブランド 情報を収集・分析する能力を身に付ける。	1 年	60		0	0	C)	
11	0	ファッション デザイン論	ファッションデザインを学ぶうえで必要となる基本的な知識を学修する。ファッションデザインとは何か、また、その考えをどのように表現していくのか、そこに必要な知識・技術を身につける。デザインプロセスや造形の基本テクニック、などを学び、他の科目で実践的に身につけられる入口になるよう連携を図る。	1年前期	15	C		0	C)	
12	0	販売概論	ファッション販売の概要とショップスタッフの対応力、快適な売場運営について指導する。 今、実店舗に求められるショップスタッフの役割 を理解し、お客様の購買行動と心理プロセスに 沿った対応力を修得する。	1 年	30	C		0	C)	
13	0	修了制作	オリジナルデザインの提案を指導する。1年間の集大成としてマーケティングリサーチからコンセプトワーク、デザイン、パターン、ソーイング、企画書作成、プレゼンテーションまでを一貫して行う。	年後	198		0	0	C)	
14	0	ビジネスコ ミュニケー ション	百貨店において、接客サービスに従事し、接遇指導の実績のある教員が、社会人としての基礎力を指導する。 第一印象から身だしなみ、正しい言葉遣いから、「話す」「聞く」等の表現を実践的に身に付け、公的な場面での好感のもてるマナーやコミュニケーション力を修得する。	1	30	O		0	C)	
15	0	社会研究I	働くことの意義、業界研究、自己分析を経て自己 の社会的確立を目的とし、進路決定の基本となる 考え方と就職活動の具体的方法を学ぶ。	1年後期	15	C		0	C)	

16	0	セールステク ニック I	リアル店舗におけるファッション販売一連の流れに沿って、コンサルティングセールスのベースを指導する。 また、多様化するマーケットや購買チャネルの現状を理解し、デジタル時代に目指すべき販売員の要素を合わせて学修する。	1 年 後	24		0	0		0
17	0	社会研究Ⅱ	将来の職業への関心を更に深め、働く事の意義や構造について学ぶと同時に、社会におけるコミュニケーションのあり方を修得し、意欲的な人生設計への実現に向けた選択行動が取れるようになる事を目的とする。	左	15	0		0	0	
18	0		アパレル業界におけるマーケティング、及びプランニングの流れを解説し、実践する。マーケットリサーチ、ロジカルシンキングを通し、市場の流れ、業界動向、流行を読み取る力を修得する。	2 年前期	45		0	0	0	
19	0	グラフィック デザイン	IllustratorとPhotoshopのアプリケーションソフトを使ってポスター、リーフレット、カタログ制作やWebサイト制作など広報ツール制作について指導する。	2 年	90		0	0	0	
20	0	品質管理	アパレルに求められる品質と消費性能について理解し、品質基準、品質管理、品質評価、洗濯などの取り扱い方法や品質表示について学ぶ。実践的なしみ抜きなども取り入れ、現場で役立つ品質にかかわる知識を身につける。また、お客様に伝えるべき品質と取り扱いを理解し、その伝え方やクレーム対策についても学ぶ。	2	15	0		0	0	
21	0	SNS コミュニ ケーション	ファッションの現場で多く使用されている Instagramに重点を置き、演習を交えながら情報の発信方法やファン育成のノウハウといったセルフブランディングのための基礎スキルを指導し、就職後、即戦力となれるような人材育成を行う。	生	24		0	0		0
22	0	WEBビジネス	WEBビジネスや、EC(Electronic Commerce電子商取引)において、知っておくべき基礎知識と、一個人でもECの開設、運用ができる力を養い、ネット市場とネットショップ運営に関する授業を行う	年後	16		0	0		0
23	0	デザイン画Ⅱ	ー年次に履修したデザイン画の基礎をもとに 素材や質感ディティールなどを表現技法と合った 画材の選出を含め 自分のイメージ通りに表現す る手法を指導する。	年	45		0	0		0
24	0	ファッション ビジネス論 II	ファッションビジネスの総合的、かつ高度な理解を目的とた、実務的な応用理論を解説する。国内のみならず、世界のファッションビジネスの変遷と現状、産業構造やビジネスシステムについて理解を深める。	2 年	90	0		0	0	

28 O	25	0	アパレル演習	実際の店舗での接客・販売技術を指導する。実際の店舗においてブランドや商品の知識を身に付ける。また、アパレル販売の中で基本となる接客技術をはじめ、サイジングやお直し、ディスプレイ、ロールプレイングなどを行い、店頭でのインターンシップを通してそれらの技術を実践的に身に付ける。	2年前期	15	Δ	0	Δ		0		0	0
マネ	26	0		を指導する。また、Instagramファッションアカ ウントを運用し、ファッションページの制作を指	年前	45		0		0			0	
10 10 10 10 10 10 10 10	27	0	卒業制作	グループワークにより、マーケティングリサーチからコンセプトワーク、デザイン、パターン、 ソーイング、コーディネート、広報、販売展開ま	年後	245		0		0		0		
29 ○ ショップマネ ジメント これ表別を理解し、どのような目的で、どのような目的で、どのように運営されるのか、又、店舗を効率的にでする為のマネジメントのトータル的な考え方を修得する。 2 年 135 30 ○ ショッププロデュース ショップ出店における一連の業務を指導する。更に、ファッションEC業界の動向を学びながら、ネットビジネスの基礎知識と運営の仕組みを修得する。 2 年 80 31 ○ ネットショップの開設、および運営方法などを学ぶ。ネットスの規設、および運営方法などを学ぶ。ネットススの基礎知識と運営の仕組みを修得でのショップにおける必要なコンテンツ制作、接容ポイント、SNSと連動させた運用方法など、実践的に学ぶ 2 年 10	28	0		り高度な専門知識・技術・情報を提供し、商品提案を含め買い手の満足を得られる人材となるべく、実店舗における販売員の役割を解説、実務指導する。ロールプレイングを通し、情報のキャッチカとコミュニケーションスキルの向上を図る。 又、顧客管理の重要性、クレーム対応についての	2 年	90		0		0		0		
30 ○ ショッププロデュース 更に、ファッションEC業界の動向を学びながら、2年 2年 80 ○ </td <td>29</td> <td>0</td> <td></td> <td>て指導する。 小売形態の特性を理解し、どのような目的で、ど のように運営されるのか、又、店舗を効率的に・ 効果的に運営し、目的を達成する為のマネジメン</td> <td>2 年</td> <td>135</td> <td></td> <td>0</td> <td></td> <td>0</td> <td></td> <td>0</td> <td></td> <td></td>	29	0		て指導する。 小売形態の特性を理解し、どのような目的で、ど のように運営されるのか、又、店舗を効率的に・ 効果的に運営し、目的を達成する為のマネジメン	2 年	135		0		0		0		
ネットショップの開設、および運営方法などを学ぶ。ネット 2 10	30	0		更に、ファッションEC業界の動向を学びながら、 ネットビジネスの基礎知識と運営の仕組みを修得		80		0		0		0		
合計 31 科目 1920 単位(単位時間)	31	0	ププロデュー ス 	プの開設、および運営方法などを学ぶ。ネットショップにおける必要なコンテンツ制作、接客ポイント、SNSと連動させた運用方法など、実践的に学ぶ	2 年			0	1000				n+ 5	

卒業要件及び履修方法	授業期間等	F
・出席率が80%以上であること ・当該年次の科目全てに合格すること 卒業要件: ・卒業制作または卒業研究に合格すること ・当該年次の授業料等諸経費が完納されていること	1 学年の学期区分	2 期
履修方法: 学則に定める教育課程に基づき授業科目を履修し、学修の評価により科目を 修得する。	1 学期の授業期間	15 週

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合 については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について〇を付すこと。